

乾燥弱毒生麻しんワクチン

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 10代	麻しんの免疫 (なし)	0.5mL 1回	急性散在性脳脊髄炎	
				接種日	本剤接種。
				接種18日後	黄疸が出現。
				接種27日後	B病院へ転院。 髄液細胞数，ネオプテリン高値，脳血流SPECT検査にて病変部の血流上昇を認めたことにより，二次性脳炎（急性散在性脳脊髄炎）としてステロイドパルス療法，人免疫グロブリン療法，ステロイド後療法（内服）を施行。経過中，痙攣発作を抑制するためにミダゾラムの持続投与，及びバルプロ酸ナトリウムとガバペンチンの内服を要した。ガバペンチンの内服はその後も継続。
			接種57日後	軽快し，退院。	
併用薬：なし					

乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 10歳 未満	麻しん及び風しんの予防 (なし)	0.5mL 1回	急性脳症	
				接種日	本剤接種。
				接種9日目	夕方より39 の発熱，嘔吐1回あり。
				接種10日目	朝，37.7 ~ 38.2 の発熱あり。当院来院。咳嗽（-），鼻汁（-）。軽度咽頭発赤のみ。食欲，元気あり。血液検査正常。本剤による発熱と考え，無投薬。 夜，痙攣重積起こし，他院Aへ入院。
				日付不明	入院後，4 ~ 5日間痙攣止まらず，意識障害あり。MRI検査にて，急性脳症と診断。
				接種26日目	意識は回復するが，四肢硬直を認める（電話にて他院A医師より経過を聴取）。
				接種77日目	他院A退院。他院Bにてリハビリ開始。
			接種189日目	回復したが後遺症（四肢硬直，頸定未）あり。	
併用薬：なし					